

令和3年 第7回

宮崎市教育委員会（定例会）

会 議 録

公 開 部 分

令和3年 第7回宮崎市教育委員会定例会会議録

1 日 時 令和3年7月28日(水) 13:40～15:30

2 場 所 教育委員会室

3 出席者 【教育長・教育委員】

西田教育長、今門代表教育委員、畠山委員、柳田委員、片山委員

【事務局】

迫田教育局長

(企画総務課) 川邊課長、井上補佐、川崎室長、

堀指導主事、鬼束主任主事、三角主任主事、河野主事

(学校施設課) 河野課長

(学校教育課) 牧野課長

(教育情報研修センター) 堀之内所長

(生涯学習課) 中野課長

(保健給食課) 大賀課長

(文化財課) 白坂課長

(保育幼稚園課) 成松課長、佐藤主任主事

4 議 案

番号	件名	説明者
議案第29号	令和4年度に使用する中学校用教科用図書の採択について	学校教育課長

5 報 告

番号	件名	説明者
報告第26号	新型コロナウイルス感染症に係る対応について	教育局長
議案第27号	令和3年度第1回宮崎市いじめ防止対策委員会の報告について	学校教育課長
報告第28号	事故等の報告について	学校教育課長

西田教育長	<p>それでは定刻になりましたので、ただ今から、第7回教育委員会定例会を開会します。</p> <p>本日の傍聴者は、ありません。</p> <p>それでは、会次第「2 会議録署名人の指名」です。本日の会議録の署名人は、私西田と、畠山教育委員を指名したいと思います、よろしいでしょうか。</p>
委員	異議なし。
西田教育長	<p>まず、会次第「3 行事報告等」に入ります。1ページをお開きください。</p> <p>「(1) 教育長報告」ですが、7月9日(金)に行われた「令和3年度中核市教育長会第1回総会」について報告します。資料の3ページをご覧ください。今回は、オンライン開催で行われました。資料にありますとおり、議事としては、令和2年度の事業報告と決算報告、令和3年度の事業計画と予算の案について、感謝状贈呈者についてなどが挙げられました。また、議案第4号の人事権移譲等プロジェクト会議の休止と、プロジェクト会議の今後については、教職員の人事権を今後中核市に移譲していくという計画については、他の市町村の合意を得られたうえで進めていくべきであるが、現段階では、難しいということで、一旦会議としては、休会していくという話がありました。また、国の施策及び予算に関する要望についての内容が説明されて、閉会となりました。報告については以上です。</p> <p>次に、「(2) 委員報告」ですが、7月12日(月)に行われた「宮崎縣市町村教育委員会連合会要望活動」についてと、7月15日(木)に行われた「宮崎縣市町村教育委員会連合会講演会」について今門代表教育委員より報告をお願いします。</p>
今門代表教育委員	<p>それでは、資料の4ページと5ページをお開きください。</p> <p>まずは、「宮崎縣市町村教育委員会連合会要望活動」についてですが、7月12日に県教育委員会へ行ってまいりました。出席者は、私と、西田教育長、県教育委員会からは、中原副教育長、児玉教育政策次長、黒木教育振興次長、その他関係課の職員が出席されました。県教育委員会に対し、宮崎縣市町村教育委員会連合会から県内26市町村の要望をとりまとめた「令和4年度教育施策に対する要望書」を提出しました。中でも、重点要望事項として、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 「特別支援教育推進のための条件整備について」 2 「部活動の適切な運営に向けた環境整備について」 3 「教育の情報化に対する支援の充実について」 4 「新型コロナウイルス感染症拡大に伴う支援について」 <p>を要望しました。このことについては、また11月に話し合いをする事になっています。会議の後に10分程度、じっくりと話をする時間があるのですが、なかなか、話のきっかけが掴めなかったため、今後は、県と市の教育委員会で取り組んでいることや、国に対してどう要望していくのかなど、一つか二つ柱を決めて臨んだらいいのかなと思いました。</p> <p>次の5ページをご覧ください。「宮崎縣市町村教育委員会連合会講演会」ですが、これは7月15日(木)1時から2時30分まで教育委員会室において、オンラインで開催されました。主催は宮崎縣市町村教育委員会連合会で、出席者は、私と西田教育長、片山教</p>

	<p>育委員、教育局長、県内の各市町村教育長及び教育委員、事務局職員です。</p> <p>講演内容は、演目が児童虐待の現状と対策ということで、講師が県立看護大学名誉教授の花野典子氏にお願いしました。本講演会では、子どもたちが置かれている虐待の現状や課題について、基本的な知識や児童虐待が引き起こす心理的身体的な影響など看護や子育て支援活動などのご自身の経験を通して大変分かりやすくご講義いただきました。私も聞いていて、乳幼児時期の子どもへの親の接し方、これが如何に大切かを痛感させられるような講義でした。特に、愛情が大事なんだということを感じました。自分が小さかった頃、両親と過ごした日々を思い出して、今、元気で生活出来ているのは両親のおかげなんだ、もっともっと感謝しなくてはいけないなどという感想を持ったところでした。講師の花野先生をお呼びすることができて良かったなと思いました。ただ、講演等をオンラインでする場合には、使用する資料データを十分に準備して実施する方法もあるので、その辺も今後考えていく必要もあるのではないかと思います。以上、報告です。</p>
西田教育長	<p>ありがとうございました。</p> <p>次に、「(3) 教育局長報告」ですが、7月21日(水)に行われた「子ども・子育て環境調査特別委員会 各課事情聴取」について教育局長から報告をお願いします。</p>
迫田教育局長	<p>資料6ページをご覧ください。資料の4です。</p> <p>令和3年度7月21日(水)の10時から、本庁舎2階第3委員会室におきまして「子ども・子育て環境調査特別委員会 各課事情聴取」が行われました。</p> <p>本委員会は、子どもたちを取り巻く環境が複雑に変化するなか、子どもたちの健全な育成のため、現在の子育て環境の状況を把握するため設置されたものです。資料の概要にありますように企画総務課、学校教育課、生涯教育課の事業が調査内容に指定され、それぞれ取組状況を説明したところです。現在のコミュニティ・スクールの現状やキャリア教育の取組、タブレットの持ち帰りや児童クラブの待機児童、放課後子ども教室の運営についてお尋ねをいただきました。委員の方からの意見としては、全体的に各事業に対する前向きなもの、また、教育委員会の事業を応援するといった意見をいただきました。特別委員会の説明は以上ですが、昨日、文教民生委員による視察がございましたので、そちらもあわせて報告をします。コロナ禍ということもあり、埼玉県川口市にオンライン視察を行いました。内容としましては、川口市の夜間中学の取組についての視察でした。川口市の説明をお聞きし、質疑応答がなされました。委員からの質問も数多くございまして、夜間中学での生徒の費用、市の費用、また、指導をする先生に関する質問などがあり、熱心に説明を聞かれていました。委員の方々の夜間中学についての関心の高さを感じたところです。説明報告は以上です。</p>
西田教育長	<p>次に、「(4) 各課行事報告」については記載のとおりですが、①学校教育課行事にございます「令和3年度第1回宮崎市いじめ防止対策委員会」については、後ほど議事の中で報告します。</p> <p>それでは、これまでの報告に対する質問や、各行事に参加された委員の方でお気づきになった点やこれからの課題、また感想等あり</p>

	ましたら、お願いします。
委員	異議なし。
西田教育長	<p>それでは、ないようでしたら、「4 議事」に入らせていただく前に、進行の都合上、資料14ページ会次第「5 その他」の報告事項「宮崎市立倉岡幼稚園の今後の運営方針の検討について」、事務局より説明をお願いします。</p>
成松保育幼稚園課長	<p>本日は、「宮崎市立倉岡幼稚園の今後の運営方針の検討について」資料を配布しています。市立幼稚園については、教育施設ですが、「宮崎市教育委員会の権限に属する事務の補助執行規程」に基づき、子ども未来部が市立幼稚園の管理に関する事などの事務を行うこととなっていますので、保育幼稚園課より、ご説明をします。</p> <p>はじめに、「1 検討を行う理由」ですが、本市では、少子化や共働き世帯の増加等の影響により、幼稚園利用者が減少しており、倉岡幼稚園においても、利用者が定員に満たない状況が続いています。また、倉岡幼稚園は、昭和51年の建設であり、築44年が経過し、施設の老朽化も進んでいることから、今後の運営方針についての検討が必要となっています。</p> <p>次に、「2 倉岡幼稚園の現状及び宮崎市における就学前児童の状況」についてですが、(1)の基本情報にあるとおり、倉岡幼稚園の利用定員は40人です。</p> <p>次に、「(2)市全体の就学前児童推計」ですが、平成27年の実績から令和6年までの推計で、約3,000人の児童が減少する見込みとなっており、少子化が進んでいることが分かります。</p> <p>また、「(3)市全体の1号認定者の利用率」ですが、これは満3歳以上で幼稚園等での教育を希望する児童となる1号認定者の利用率としては、平成30年以降70%台と定員割れの状況が続いています。</p> <p>そして、「(4)倉岡幼稚園入園児童数の推移」ですが、平成28年度からのデータを載せていますが、ご覧のとおり、定員の40名に対して、毎年定員割れが続いている状態となっています。本年度の入園児童は、3歳児が2人、4歳児が3人、5歳児が5人で、合計10人となっています。</p> <p>裏面をご覧ください。「3 現在の検討状況」についてご説明します。倉岡幼稚園の今後のあり方を検討していくにあたり、まず初めに、保護者アンケートを実施しました。アンケートの対象は、令和3年度以降も在籍する全世帯としており、施設の老朽化に対するご意見や、集団教育が難しくなることについてのご意見等を伺いました。保護者の皆様からのアンケート結果について、主なものを記載していますが、「施設については満足している」とのご意見をいただきました。また、保護者の皆様全員が、「園児が少なくなっても、最後まで通園したい。」とのご意見でした。</p> <p>次に、「(2)保護者との第一回意見交換会」ですが、アンケートの結果を踏まえ、本年6月7日に実施しました。先日のアンケートで、全ての保護者の皆様から「最後まで通園したい」という回答があったことから、「仮に廃止になるとしても、在園児が卒園するまでは運営を継続することを考えたい。」ということ、また、保護者より関係機関の皆様のご意見を聞きながら、10月ぐらいまでには方針を決定したいとの説明をしました。</p>

	<p>続きまして、「4 今後の運営方針（案）」についてご説明します。ただいまご説明しました保護者アンケート及び意見交換会をふまえ、市としては、入所の状況や施設の状況から、令和5年度末もしくは令和6年度末をもって「廃止」ということを今後の運営方針案としました。まず、入所の状況についてですが、令和4年度以降は5名以下での運営となる可能性がございます。来年度の募集で3歳になる年少クラスを希望する人には、その園児が卒園する令和6年度末まで運営を行い、年少クラスの入園希望者がいなかった場合には、1年前倒しで令和5年度末まで運営する方針としています。このため、廃止の時期を令和5年度末と令和6年度末の二通りの案としています。令和4年度の園児募集については、募集をしないことも検討しましたが、園児募集は、例年11月に行っておりまして、募集しない場合は、3ヶ月前の8月から周知をするという必要がございますので、8月にまだ方針が決定できない状況であることから、来年度も園児募集を行うということにしています。また施設の状況については、築44年が経過していること、敷地の一部が土砂災害警戒区域にかかっていることなどが理由としてございます。</p> <p>最後に、「5 今後の流れ（予定）」です。7月14日に第2回保護者意見交換会を開催しました。その中で、ただいま説明しました、方針案を保護者の方にご説明したところ、在園児が卒園するまでは運営を行う方針となっていますことから、保護者の皆様からのご意見も特にございませんでした。今後は、個別面談を希望する保護者に対しての対応や、現在利用している、保護者の皆様のご意見を確認しながら、引き続き、調整していきたいと考えているところです。倉岡幼稚園の今後の運営方針を検討していく中で、現在の状況を教育委員会の皆様にご説明をしました。このように廃止という方針をもって、今後も関係団体の皆様にご指導いただくこととしています。また、あわせまして、市では、公共施設の評価を行う施設評価という制度がございますので、そこにおきましても倉岡幼稚園の廃止について検討を行い、本年10月までに市の方針を決定することとしています。最後になりますが、方針案としています廃止に至る決議におきましては、今後、園児の受け入れ停止に係る幼稚園の規則改正、教育委員会定例会における倉岡幼稚園廃止にかかる議案審議など、委員の皆様にご改めをお願いをすることとなっておりますので、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。説明は以上です。</p>
西田教育長	それでは、これまでの説明でご質問はありませんでしょうか。
柳田教育委員	保護者アンケートの「(2)園児を増やすための方策」として預かり保育等についての意見があったとありますが、難しい問題だとは思いますが、園児を増やすための方策はなかったのでしょうか。
成松保育幼稚園課長	市立幼稚園において、幼稚園教育要領において、幼稚園の1日の教育課程に係る教育時間は4時間を標準としています。そこを超えての預かりをということになると、市立幼稚園は、全額、運営費を市が負担することになるので、そうなった場合、職員の配置や調整が必要であり、それが私立の場合には、国と県からの運営費としての補助が出て費用があるなどの違いがありまして、園児一人にかかる費用が市立の場合は1.5倍ほどかかることとなります。市立幼稚園において預り保育は困難ということをご説明しました。また、私

	立幼稚園でも、定員割れをしているという現状があります。そのため、預り保育については私立幼稚園にお願いするということになります。
西田教育長	他に質問はございませんか。
委員	なし。
西田教育長	<p>保育幼稚園課長、ありがとうございました。</p> <p>次に、「4 議事」に入らせていただきます。7ページをご覧ください。本日、議案が1件ですが、議案第29号「令和4年度に使用する中学校用教科用図書採択について」は、準備及び傍聴者・事務局職員の退室の必要がございますので、会次第7「行事予定」の説明ののちに審議していただきます。それでは、9ページをご覧ください。報告が3件です。</p> <p>報告第26号「新型コロナウイルス感染症に係る対応について」、報告第27号「令和3年度第1回宮崎市いじめ防止対策委員会の報告について」、報告第28号「事故等の報告について」については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項により、非公開としたいと思っておりますが、いかがでしょうか。</p>
委員	異議なし。
西田教育長	それでは、これより非公開としたいと思います。
西田教育長	<p>それでは、ここで非公開を解除します。</p> <p>次に、会次第「5 その他」に移らせていただきます。委員の皆さまから、情報提供等がありましたら、お願いします。</p>
今門代表教育委員	<p>先日、定期検診のために、市内の大きな病院に行ったのですが、病室のベッドに横たわっていたところ、朝早かったので、看護師さんたちの打合せをやられていました。その打合せを聞いていると、伝達事項の中に、勉強会に参加する人は自分の名前に丸をつけて提出してくださいとおっしゃっていて、注射を打つ時、看護師さんに勉強会を自主的にされるんですかと尋ねてみたところ、「日々勉強、一生勉強ですよ」とおっしゃっていました。「新しい薬がどんどん開発される、それを覚えていかないと間違える訳にはいかない、機械も新しいタイプのものがきたら操作を覚えなくてはならない。」「人の命に関わることですから、一杯覚えることがあるんです。」とおっしゃりました。「昔は、看護師の免許をとったら、これで一生食べていけると思っていたが、やはり勉強を続けていかないとだめですね。日々勉強、一生勉強ですよ。」と言われて、感動したところですが、これは教育の世界でも言えることだなと感じたわけです。例えば、私はタブレットに関する勉強をしなくてはと思っていますが、なかなか手が付けられていません。もし、同じ様に退職を迎える先生たちがそのような消極的な姿勢でいたら、子どもたちの不利益に繋がるんだということです。この看護師さんの「日々勉強、一生勉強」と言われた、新しいことはすぐに覚えて取り入れて、現場で活用していく姿勢がとても大切だと思います。学校の先生方も確かに大変忙しくされているとは思いますが、先延ばしでいいやなんてことは決してないんだと最近感じたことについてお話をしました。</p>
西田教育長	他にありませんか。
委員	なし。
西田教育長	ないようでしたら、事務局から「(2) 令和3年度宮崎市教育委員会点検・評価会議について」、説明をお願いします。
川邊企画総務課長	「令和3年度宮崎市教育委員会点検・評価会議」について説明し

	<p>ます。今年度の点検評価会議は、8月12日（木）14時から16時の開催を予定しています。</p> <p>本日、委員の皆様のお手元に、事務局で作成しました報告書（案）を配布しました。この報告書（案）については、皆様にも事前にご確認いただき、当日の会議にてご質問・ご意見を頂きたいと考えています。</p> <p>また、会議には、学識経験者として宮崎公立大学野崎教授、宮崎市PTA協議会岡本会長にもご出席頂く予定にしています。</p> <p>会議で頂きましたご意見は、会議終了後、事務局にて報告書に反映し、委員の皆様と学識経験者の皆様に改めてご確認いただきます。最終的に教育委員会定例会で議案をご承認いただきまして、市議会への提出と市民への公表という流れで進めてまいります。委員の皆様におかれましては、ご多用のところ恐れ入りますが、どうぞよろしくお願いいたします。</p>
西田教育長	ただいまの説明に対し、ご質問はございませんか。
委員	なし。
西田教育長	それでは、「6 次回教育委員会について」、事務局から説明をお願いします。
川邊企画総務課長	次回教育委員会は、令和3年8月20日（金）、13時40分から教育委員会室において、開催したいと考えています。よろしくお願いいたします。
西田教育長	<p>ただ今説明のありました日時で、委員会を開催いたしますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>続きまして、会次第「7 行事予定」について、事務局から説明をお願いします。</p>
川邊企画総務課長	（ 行事予定説明 ）
西田教育長	以上をもちまして、第7回定例会を終了します。